

平成28年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 89
ID 603204

【施設状況】

グループ名称	芋井公民館								
指定管理者名	芋井地区住民自治協議会					法人番号			
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副					
構成施設	3373	芋井公民館							
施設分類	01	企画型	施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	学習室(図書室)、調理室、郷土資料室、大集会室(スライド壁で間仕切り可)、和室(研修室・会議室)								
施設設置目的	社会教育法の規定に基づき、住民のために、实际生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情報の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。								
基本方針等	利用者の安全対策を最優先に、地域住民及び各種団体、学校などの活動と連携を図りながら、利用者に配慮した対応を心掛け、ニーズを把握し管理運営に反映するように努め、適正な維持管理と保守点検を行う。公の施設であるということを念頭におき、公平、公正な運営を行う。、								
主な実施事業	定期講座を開設すること。討論会、講習会、講演会、実習会、展示会等を開催すること。図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図ること。体育・レクリエーション等に関する集会を開催すること。各種の団体、機関の連携を図ること。その施設を住民の集会その他公共の利用に供すること。貸館に関すること。								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	協定、計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none"> 協定、計画の一部が予定どおり実施されない 管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none"> 協定、計画が全て実施されない 管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	芋井地区住民自治協議会			指定回数	1 回
指定期間	平成27年4月1日	～	平成30年3月31日	3年	管理運営開始日 平成27年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。				評価 3
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)				

		利用区分等	単位	H25	H26	H27	H28	対前年比	評価
施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	芋井公民館	利用者数	人	2,632	2,447	5,049	5,203	103%	3
	芋井公民館	利用率	%	7.7	5.7	6.6	6.3	95%	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
		(特記事項) H26からH27にかけて利用者数が2倍以上の増加となっているが、集計方法を改めたことによるもの。							
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> 芋井公民館の利用の許可に関する業務 社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務 芋井公民館の施設及び設備の維持管理に関する業務 芋井公民館の利用の許可、不許可及び取り消しに関する業務 施設、付属施設及び物品の維持管理に関する業務 							
	自主事業								
サービス維持・向上の取組み(広報等)		各種事業・講座等のチラシでの広報の他、新聞やSNS等での告知と報告。							

3 利用者評価

		区分	内容	評価
利用者評価	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	聞き取り	3
		(2) 調査、会議等の内容	学級講座では利用者を代表して数人(時間があれば全員)から、イベント(バレエ大会、ジビエ・マイ箸作り、文化芸能祭等)では、できるだけ多くの参加者から感想や意見を聞いている。講師とは事前の打ち合わせと講座終了後のミーティングを実施。	
(3) 調査、会議等の結果	①ガーデニング講座2回(10/37) ②リトミック教室(5/30) ③ホテル鑑賞会(10/60) ④ジビエ・マイ箸作り(15/79) ⑤桜餅・かしわ餅作り(20/24) ⑥そば打ち講座(10/10) ⑦つけもの講座(14/16) ⑧手打ちうどん講座(10/10) ⑨水利の今昔(8/47) ⑩そば打ち講座(10/10) ⑪手打ちうどん講座(10/10) ⑫おやき講座2回(35/41) ⑬やしょうま作り講座(14/16) ⑭ふるさと学級2回(45/51) ⑮成人祝賀式(新成人11/11) ⑯文化芸能祭(20/230) ⑰健康づくり教室2回(58/61) ⑱ワントン作り(15/18) ⑲おとなの社会見学(24/25) ⑳赤飯作り(18/18) ㉑バレンタインチョコ作り(16/18) ㉒唱歌・童謡を歌う(15/19) * ()内の数字は、聞き取り人数/参加人数			
利用者からの評価・苦情等	利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価	<ul style="list-style-type: none"> リトミックだけでなく、絵本の読み聞かせや保健師の育児相談もあってよかった。(リトミック教室) 成人式で館利用の箏のグループが演奏、新成人の中に経験者がいて喜ばれ、来賓からも褒められ演奏者は励みとなった。 長野市美術館のバックヤードなど普段見学できない場所を見学でき有意義だった(おとなの社会見学) 思いのほか簡単にでき、しかも本格的なワントン作り、あれから家でも作っています(後日談) バレンタインチョコ作りで作ったサラダは自分(中学生)でもできそう 	
		(2) 苦情・改善等の要望事項	<ul style="list-style-type: none"> 講座に申し込みをしたが、定員になってしまい参加できなかったのが残念だった。(おとなの社会見学) 駐車スペースが狭い。(イベントの時等多くの人が集まるとき) ホールの椅子の汚れが目立ちます。(ホールの椅子は購入以来クリーニングをしてなかったこともある) 	
		《対応措置》	<ul style="list-style-type: none"> 毎回おとなの社会見学は人気が高く有難い。参加できなかった方にはお詫びをし、定員数などを検討したい。 車はできるだけ乗り合わせていただくことと、イベントある時は近くの空き地をお借りすることができるようになった。 ホールの椅子のクリーニングを行い、清潔に心がけている。 	

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成28年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成28年度決算		平成27年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
	収入				歳入				
	利用料金		利用料金		使用料		使用料	7,790	3
	指定管理料	9,932,000	指定管理料	9,932,000	雑（納付金）		雑（納付金）		
	委託料		委託料		行政財産目的外使用料	2,440	行政財産目的外使用料	3,173	
	販売収入等		販売収入等		その他		その他		
	その他収入	24,872	その他収入	33,421					
	計	9,956,872	計	9,965,421	計	2,440	計	10,963	
	人件費	6,764,000	人件費	6,818,940	指定管理料	9,932,000	指定管理料	9,932,000	
	設備管理費	250,000	設備管理費	234,020	委託料		委託料		
	備品購入費	0	備品購入費	0	需用費		需用費		
	修繕費	250,000	修繕費	400,000	役務費		役務費		
	光熱水費	820,000	光熱水費	631,123	使用料・賃借料		使用料・賃借料		
	事業費	170,000	事業費	335,940	修繕費		修繕費		
	事務経費	1,567,000	事務経費	1,380,613	歳出		工事請負費		
	本社経費		本社経費		備品購入費		備品購入費		
	その他	171,000	その他	170,500	その他		その他		
	計	9,992,000	計	9,971,136	計	9,932,000	計	9,932,000	
自主事業	収入		収入						
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		-35,128		-5,715	差引	-9,929,560		-9,921,037	
人件費比率【人件費（賃金等）／平成28年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）								68.4%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 館長1人(1人)、主事1人(1人)、事務職員1人(1人) 計3人(3人)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3

区分	確認内容	チェック欄	評価
危機管理体制	安全対策	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか		
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	<input checked="" type="checkbox"/>	
	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか		
	防犯、防災対策	<input checked="" type="checkbox"/>	
1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか			
2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか			
緊急時対応、体制	<input checked="" type="checkbox"/>		
1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか			
2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	3
協定内容・指定管理者提案	
追加された内容、未実施の内容及びその理由	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざした学習を進める。 ・地域課題の掘り起こしや地区内の人材発掘と育成に努める。 ・地域公民館との連携に努め、必要な指導や助言を行う。 ・地区内の雇用。 	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	3	12	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	3	6	
合計得点		60	
評価理由	指定管理の健全性、施設の有効活用、利用者評価、事業収支、管理運営全般、危機管理体制、地域連携すべての項目において、当初の計画どおり、問題なく運営されていた。		
取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等（改善されていない場合）
次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	利用促進を図るため、芋井地区住民自治協議会のホームページやツイッター（家庭・地域学びの課）の活用を図る。 指定管理者制度へ移行した公民館の情報交換を行い、交流事業を図る。 学校や各種団体と、より一層の連携を図るとともに、共催事業を実施する。 アンケート用紙による利用者の満足度を調査する。		

指定管理者自己評価

B

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・ 芋井地区内への広報活動は公民館報(年3回)、区民運動会と文化芸能祭については全戸配布をし、学級講座などは回覧で、周知を図り参加を呼び掛けている。
- ・ 芋井公民館運営委員会をはじめ、利用者(学級講座や各種行事)からの感想や意見は公民館の運営に反映している。
- ・ 情報収集及び発信については、マスメディアを積極的に活用し、住自協のホームページの活用など情報発信を行っている。
- ・ コストの削減を図り、利用者のニーズや便利を考え、事業の充実と備品購入に充て利用者へ還元した。
- ・ 地域の人材を発掘・活用することにより、地域の活性化を図った。「水利の今昔」等、地元講師を活用した講座を開催した。
- ・ 地域住民からの要望に応じて発足した「芋井の歴史を学ぶ会」の活動は、地域の学びの意欲を満たし、活力となった。
- ・ 聞き取り調査からのリクエストから開催した講座は「夏のおやき」「赤飯作り」「ワントン作り」等です。また、「手打ちうどん」は今年度取りやめようとしたが、ぜひとの要望に応えました。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・ 利用者の要望等は学級講座やイベントごとに聞き取り調査をし、公民館事業や運営に反映している。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・ 少子高齢化は進んでいる中で、多くの高齢者は何とかしようとチャレンジしている。(大豆作り・焼酎を造る会等)農繁期はもちろん、学校を含む各種の行事を避けた日程を組んでいるが、公民館利用となると多くを望むことはたやすいことではない。
- ・ 会計処理が課題。

(3) 次年度以降の取組み

- ・ 更なる芋井公民館の利用促進を図るため、芋井地区住民自治協議会のホームページやツイッター(家庭地域学びの課)の活用を図りたい。
- ・ 指定管理の公民館同士の情報交換を行い、交流事業を図りたい。
- ・ これまで以上に、学校や各種団体との共催を図りたい。

【指定管理者自己評価基準】

A: 計画や目標を上回る、B: 計画や目標をやや上回る、C: 計画や目標どおり、D: 計画や目標をやや下回る、E: 計画や目標を下回る